



ループ麒麟獅子バス

きりんじし  
ループ麒麟獅子バス・100円循環バスで巡る

# 鳥取ゆかりの剣豪たち



100円循環バス

あらきまた えもん  
荒木又右衛門  
(玄忠寺)

ループ麒麟獅子バス  
バス停：玄忠寺



又右衛門は慶長4年(1599)伊賀国上野の生まれ。柳生新陰流の極意を受けた剣豪。寛永11年(1634)義弟・渡辺数馬を助太刀して仇であった河合又五郎を伊賀上野・鍵屋の辻で討った。その後、数馬らとともに鳥取藩に迎えられて間もなく死去している。

はぶごう えもん  
羽生郷右衛門  
(景福寺)

ループ麒麟獅子バス  
バス停：玄忠寺



鳥取藩主池田光仲が召し抱えにあたって特技をただと、「飯粒で糊をつくる技」と答え、光仲の前で糊を練ってみせた。「武芸のことだ」とさらに光仲が問うと、「武士が弓馬槍刀を心得るのは当然。別に名乗るほどのものとは思いません」と答えた。戦場往來の具足剣法を伝えた古豪。

うずいほんがく  
臼井本覚  
(興禅寺)

100円循環バス  
バス停：鳥取県庁



本名は正武、のちに十太夫と呼ばれ、剃髪して本覚と号した。鳥取藩きっての剣豪で、丹石流の使い手といわれる実戦兵法の達人だった。岡山藩主であった寛永8年(1631)、藩主池田忠雄の君命により、槍術をもって剛勇の名をひびかせた村山越中を打ち果たした。

ごとうまたべえ  
後藤又兵衛  
(景福寺)

ループ麒麟獅子バス  
バス停：玄忠寺



大坂冬・夏の陣の勇士として知られる後藤又兵衛基次は、元和元年(1615)道明寺で戦死した。46歳で死去した基次の一子為勝は、成人して池田光仲に仕えた。為勝の子政敏は、又兵衛夫妻の墓として五輪塔2基と石碑を建立した。

ふかおかくまほんじょうじ

深尾角馬(本浄寺) 100円循環バス バス停：弥生橋

寛永8年(1631)備前岡山藩主池田忠雄に仕えていた河田理右衛門の子として生まれ、国替えに伴ない主君池田光仲に従い鳥取に移った。丹石流をはじめ、数々の剣術を学び、やがてそこから、従来の甲冑をつけない素肌の剣術である「雖井蛙流」を考案し、弟子たちに伝えた。



しらいげんだゆう  
白井源太夫  
(妙要寺)

100円循環バス  
バス停：寺町



名を正林といった源太夫は、雖井蛙流の真髓を後世に伝えた。温厚で争いを好まず、雖井蛙流のほか安心流の居合、一学流の棒術を修めて門人を指導した。月明かりの夜には観音院の東の裏山で尺八をかなでたことから、現在の源太夫山の名がついたと言われている。

## 全国に情報発信！ 剣豪ロードプロジェクト

武蔵生誕の地と伝えられている岡山県大原町には、ドラマ放映の効果で昨年度を大きく上回る数の観光客が訪れています。

鳥取市では、こうした観光客に姫鳥線(建設中の中国横断自動車道姫路・鳥取線)沿線地域全体まで足を運んでいただき、ひいては鳥取県東部地域の活性化に結びつけ

ていきたいと考えています。

そのため、昨年12月、同線沿線の剣豪にゆかりのある市町村などとともに「剣豪ロードプロジェクト会議(代表：竹内功鳥取市長)」を結成。互いに連携しながら、情報発信やイベント開催などに取り組んでいます。

